

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	近代建築史小委員会	主 査 名：内田青蔵
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：陣内秀信
設 置 期 間	年 月 ~ 年 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	近代建築史に関する情報整理と調査・研究。具体的には、『日本近代建築総覧』の改定・データ整理、加えて、派生するさまざまな建築動向に関する調査・研究を行う。とりわけ、近年は近代建築の保存・再生に関する継続的な調査・研究を実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	角 幸博 北海道大学 工学研究科都市環境工学専攻建築計画学講座建築史意匠学分野 初田 亨 工学院大学 工学部建築学科 山形 政 昭大阪芸術大学 建築学科 揚村 固 鹿児島県立短期大学 生活科学科 藤岡 洋 保東京工業大学 工学部建築学科理工学研究科建築学専攻 大川 三雄 日本大学 理工学部建築学科 内田 青蔵 文化女子大学 住環境学科 石田 潤一郎 京都工芸繊維大学 工芸学部造形工学科 藤谷 陽悦 日本大学 生産工学部建築工学科 足立 裕司 神戸大学 工学部建設学科 中森 勉 金沢工業大学 工学部建築学科 中川 理 京都工芸繊維大学 工芸学部造形工学科 西澤 泰彦 名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻 千代 章一郎 広島大学大学院 工学研究科 社会環境システム専攻 村松 伸 東京大学 生産技術研究所第5部	
設置 WG (WG 名:目的)	アジア近代建築ネットワークWG	
2003 年度予算	230,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回 10月23日 出席者：8名 第2回 2003年2月13日 出席者：6名 ミニ・シンポジウム：「建築史学と保存・再生学の関係」 日時：2003年2月13日 参加者：41名 場所：日本建築学会会館 302・303 会議室
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 一昨年まで、『建築知識』で近代建築の保存再生事例を取り上げ、紹介してきたが、その連載が終了した。それを受け、今後どのように活動を展開するかを議論してきた。その結果、全国レベルで、保存再生の事例をリストアップし、データベース化する必要性を再認識し、2004年度の活動とすることにした。加えて、小委員会のメンバーで科研費を申請し、データベース化を実施すべく準備を行った。 一方、現在の建築に見られる保存・再生の問題を掘り下げるべく、「建築史学と保存・再生の関係」と題してミニ・シンポジウムをおこなった。参加者は41名と、予定者を超えるほど盛況で、建築の保存・再生への興味の高さを確認できた。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 今年度の活動は、これまでの活動を振り返ること、そして、新たな活動方針を定めることであった。その意味では、テーマの再確認ができ、また、研究活動の準備として科研費の申請ができたことは、一応の成果といえる。次年度は、具体的なデータベース化の活動の一步を踏み出したいと考える。
その他評価すべき事項	